

2006 ASIAN PRIVATE EQUITY & VENTURE CAPITAL FORUM – JAPAN

グローバルな展望とローカルなビジネス機会

グローバルファンドと国内ファンドの出会いの場—いつ提携し、如何に競争するか

2006年4月3-5日 ・ 東京全日空ホテル



リードスポンサー—

HARBOURVEST

共同リードスポンサー—

 **MKS Consulting Limited**

 **NEW BRIDGE
CAPITAL**

 **Permira**

主催—



 **GLOBIS
CAPITAL
PARTNERS**

メディアパートナー—

後援—

 **ASTORIA
CONSULTING
GROUP, LLC**

 **AltAssets**
the alternative assets network
www.AltAssets.net

 **EUREKAHEDGE**

 **FT**
FINANCIAL
TIMES

FORTUNE

2006 ASIAN PRIVATE EQUITY & VENTURE CAPITAL FORUM – JAPAN

2006年4月3-5日・東京全日空ホテル

2006年 4月3日 (月曜日)

- 6:30 PM 登録
6:30 - 8:00 PM ウェルカム カクテルレセプション

2006年 4月4日 (火曜日)

- 8:00 AM 登録受付および朝食
8:50 AM 歓迎式典
9:00 AM **日本におけるバイアウト投資: “豊富なディール、しかしトランザクションは少ないのが実情”**
国内市場の変化は、新しいチャンスをもたらす引き金となるか - 利益を享受するのは誰?
日本で活動している海外のプライベートエクイティファームは、大きな問題に直面しています。世界第二の経済国ともなれば、多くの機会が与えられて当然なはず、しかし、海外の投資家の期待に及んでいないのが実情。業界のリードが次の議題にて議論を交わします。
■ グローバル・プライベートエクイティファンド・マネージャーと上場企業ファンドマネージャーの運用実績
■ 海外企業の成功と失敗
■ 半年でディールを決めるのに慣れた投資家が2年も待つことができるのか?

10:30 AM コーヒー/ティーブレイク

- 11:00 AM **日本におけるM&Aの新潮流**
-「in-in」「out-in」は M&A の主流となるか?
日本のビジネスコミュニティにおけるコーポレート戦略として、M&Aは進化を続けています。過去には吸収合併や業績不振といったイメージが付きまとっていたM&Aですが、現在では市場にアクセスし、コアビジネスを構築するツールとなるまでに至っています。投資業界のバイアウトたちの登場により日本の企業買収の様相が変化すること、敵対的投資の数が増えています。日本のトップレベル M&A 参加者が議論を交わします。
■ M&Aにとって日本は「正常な」国?
■ 敵対的買収は日本に根付くか。
■ 日本の買い手企業はアジアや、海外諸国の市場に足を踏み入れる準備ができていますのか。

12:30 PM 昼食会
スポンサー - 

- 2:00 PM **日本におけるグロースキャピタルと少数株式:**
- 信頼の構築による経営権の取得
長らく誰の目にも触れられずにきたグロースキャピタルは、日本のプライベートエクイティにおける未開のニッチ分野となっています。大きな系列が支配的な日本においても企業の90%は中小企業であり、中小企業の経営者は未だにプライベートエクイティに疑いの眼を向けています。市場平均を上回るリターンを生み出すにとどまらず、グロースキャピタルと少数株式は日本企業の経営方法に対する理解を深め、信頼を獲得する手段にもなり得ます。現場で活躍する企業家、そして業界のオブザーバーが経験を語ります。
■ 日本のプライベートエクイティにおけるグロースキャピタルの重要性増大の変遷
■ 日本のグロースキャピタルインベストメントについてのケーススタディ
■ 日本における小額株式への投資

3:00 PM コーヒー/ティーブレイク

- 3:30 PM **国内戦略バイヤーとの共同投資**
- 戦略投資家と金融投資家が一体となる
日本の経営者はこぞって戦略手腕、運用の技を重視しています。グローバルな投資家にとって、現地の企業戦略投資家とパートナーを組む以外に、国内市場と有利な関係を築く方法にはどのようなものが挙げられるでしょうか? それは花王によるカネボウの買収から学びとれるものでもあります。戦略/ファイナンス両サイドのパネリストが講義します。
■ キャピタルが供給不足ではなかったとしたら、金融機関の果たす役割は?
■ 日本のプライベートエクイティと買収企業間の関係を構造化
■ ローカル企業は海外の金融機関のパートナーとなりえるか

- 4:30 PM **中国およびインドにおける日本市場のファンド投資**
- アジアの成長市場バイヤーズガイド
中国とインドの魅力は他の諸国と同じく日本でも大いに注目されています。日本の投資家は長らく中国に興味の目を向けており、東京とインドのルートを往復して歴史的なつながりを構築してきました。その原動力は、低製造コスト、ローカル市場からの配当金、景気よさ、世界規模の競合性、ローカル技術の取得にあります。パネリストが次の議題にて議論を交わします。
■ 中国、インドにおける日本のM&A
■ クロスボーダーディールの構築: ケーススタディ
■ 成長する企業に投資するには

5:30 PM 1日目終了

6:30 PM GALA カクテルレセプション

- 7:30 PM GALA 晩餐会
スポンサー - 
ディナー基調講師: 齊藤 惇、代表取締役社長
株式会社産業再生機構 (IRCJ)
“日本の経済は回復しつつあるか?”

2006年 4月5日 (水曜日)

8:00 AM 朝食

8:50 AM 2日目の歓迎式典

- 9:00 AM **プライベートエクイティの新しい選択: 不動産、ディストレスそしてヘッジファンド**
- 日本のプライベートエクイティに匹敵するアセット
グローバルな投資家は、プライベートエクイティよりも日本の不動産、ヘッジファンド、ディストレスの投資で著しい成功を収めてきました。AIG/森トラストの案件はその一例にすぎません。メザニンは、保守的企業にあっても人気の金融ツールとなりつつあります。ゴールドマンとその他の不動産投資家がホテルチェーンの買収に明け暮れている間、サーベラス社とスティールパートナーズ社は、着実にディストレスに取り組んでいました。業界のプロが語ります。
■ 日本のグローバルオルタナティブアセット投資を突き動かしている力についてのあらまし
■ 日本の景気回復に伴い、ヘッジファンドは市場価格を上回るリターンを引き続き生み出せるか
■ 日本の再構築とプライベートエクイティにおけるメザニンの役割

10:00 AM コーヒー/ティーブレイク

- 10:30 AM **日本市場ベンチャーのこれから**
- ジャパンベンチャーとシリコンバレーのエコシステム比較
日本におけるベンチャー活動は未だに上昇傾向にあります。東証マザーズ市場の新株価ボードは、それを選ぶファームに利益の高い場を供給していることを証明しています。しかし、国内ベンチャーは、シリコンバレーファンドが日本市場を避けて、韓国、中国に好意的であるのに加え、国内外の組織からも同様に軽視されていると感じています。パネリストが次の議題にて議論を交わします。
■ 革新と変化をもたらしている日本のベンチャーキャピタルの役割
■ 日本のベンチャーは、アジアの他地域でそのテクノロジーを輸出し、利益とできるか
■ 日本の企業家精神文化がシリコンバレーに匹敵するようになるには

- 11:30 AM **機関投資家が語る日本におけるエクイティマーケット**
- 日本の回復はII (機関投資家)にとって高利回りをもたらすか
日本国内の機関投資家は、恐らくはヘッジファンドの人気も手伝ってか、オルタナティブアセットへの選好度が高くなっています。海外のLPは、現在、今までにないくらいGPのパフォーマンスに便乗しています。景気が回復するにつれ、日本はGDPとサイズに見合ったリターンを約束してくれるようになってきています。日本と海外のIIが討論を展開します。
■ 米国、欧州のLPは日本にどのようなビジネス機会を見出すか
■ 日本のLPにおけるさらなる役割の増加
■ 日本のLPはオフショアに注目しているか

12:45 PM ランチエオン

2:15 PM 結びの言葉
カンファレンス終了

講演とスポンサー募集について
現在、今回のイベントで講演していただく講師の方々のリストを確認しながら作成しています。講師の方で講演していただける方、またはスポンサーご希望の企業様がいらっしゃいましたら、ぜひ Lucia@AsianFN.com 講演担当 Lucia Ipまで、または DMag@AsianFN.com スポンサー担当 Darryl Mag までご連絡をお寄せください。

参加確定講師（リスト一部）

ディナーキーノート:



斉藤 惇
代表取締役社長
株式会社産業再生機構 (IRCJ)
(日本)

海外機関投資家 & リミテッドパートナー

- | | | |
|--|--|--|
| <p>フィリップ・ビルデン
マネージング・ディレクター
ハーバーベスト・パートナーズ(アジア)
(香港)</p> | <p>Grant A. Fleming
マネージングディレクター
ウィルシャー・プライベート・マーケット・グループ
(オーストラリア)</p> | <p>関 和 夫
イー・アイ・キャピタル株式会社 代表取締役社長
三菱商事株式会社
金融事業本部投資ユニットマネージャー (日本)</p> |
| <p>石田英和
シニアスタッフ (適格年金資産運用担当)
財務部財務ソリューション・チーム
大阪ガス株式会社 (日本)</p> | <p>KIYOTSUGU AKIMOTO
Senior Manager, Private Equity
The Norinchukin Bank
(日本)</p> | <p>CHRISTIAN MAYERT
マネージングディレクター
アリアンツ・プライベートエクイティ・パートナーズ
(ドイツ)</p> |
| <p>茂木敬司
ソニー生命保険株式会社
執行役員専務
(日本)</p> | <p>YOSHIO NOJIMA
General Manager, Investment Development Dept.
Sumitomo Corporation
(日本)</p> | <p>織田 裕子
投資部 投資グループ 課長代理
三井住友海上火災保険株式会社
(日本)</p> |
| <p>斉藤 陽一
シニアファンドマネージャー
東京海上アセットマネジメント投信株式会社
(日本)</p> | <p>富井 聡
日本政策投資銀行
事業再生部課長
(日本)</p> | <p>富永 嘉和
開発投資部 審議役
大同生命保険株式会社
(日本)</p> |

プライベートエクイティアドバイザー & 専門講師

- | | | |
|---|--|--|
| <p>GUIDO PAOLO GAMUCCI
Chairman
Permira Advisers K.K.
(日本)</p> | <p>TOMOYA SHIRAIISHI
President
Permira Advisers K.K.
(日本)</p> | <p>松木 伸男
代表取締役社長
株式会社MKSコンサルティング
(日本)</p> |
| <p>MASAYUKI YASUOKA
Managing Director
Newbridge Capital LLC
(日本)</p> | <p>YOSHITO HORII
Managing Partner, Globis Capital Partners
Dean, Graduate School of Management,
Globis University (日本)</p> | <p>JUNICHI ARAI
Managing Director
Morgan Stanley, Japan
(日本)</p> |
| <p>THOMAS W. EASTLING
Managing Director, Tokyo
Morgen, Evan & Company, Inc.
(日本)</p> | <p>JOSEPH W. FERRIGNO III
Managing Partner
Asia Mezzanine Capital Group
(香港)</p> | <p>DANIEL FUJII
General Manager, Head of Private Equity
Shinsei Bank Ltd.
(日本)</p> |
| <p>スコット ジラード
アソシエイト ディレクター
資産運用事業部
ジョーンズ ラング ラサール株式会社 (日本) 平</p> | <p>野 博文
代表取締役会長
日興プリンシパル・インベストメンツ株式会社
(日本)</p> | <p>石川 真一郎
代表取締役社長/CEO
株式会社GDH
(日本)</p> |
| <p>小室 直道
取締役会長, MC Capital Asia Pacific Cayman Ltd.
代表取締役社長, MC Capital Asia Pacific 株式会社
(日本)</p> | <p>ANTHONY M. MILLER
President
RCG Japan Ltd.
(日本)</p> | <p>アレン マイナー
株式会社サンブリッジ
代表取締役社長
(日本)</p> |
| <p>森本 晴久
アストリアコンサルティンググループLLC
マネージングジェネラルパートナー
(米国NY・東京)</p> | <p>YASUYUKI OTSU
Executive Officer
Mitsubishi UFJ Securities
(日本)</p> | <p>尾崎 一法
代表取締役CEO兼CIO
日興アントファクトリー株式会社
(日本)</p> |
| <p>トッドソン・ページ
M&A トランザクションズのリーダー
アジア・パンフィック
プライスウォーターハウスクーパース (日本)</p> | <p>MICHAEL PAK
CEO & Founder
NanoExa Corporation
(米国)</p> | <p>RICHARD PYVIS
Deputy Chief Executive Officer
CLSA Capital Partners
(香港)</p> |
| <p>RAJ RAJKUMAR
Partner
Symphony Capital Partners (Asia) Pte. Ltd.
(シンガポール)</p> | <p>MAARTEN RUIJS
Managing Director & Chief Investment Officer
CVC Asia Pacific (Japan) Ltd.
(日本)</p> | <p>笹沼 泰助
代表パートナー
アドバンテッジパートナーズLLP
(日本)</p> |
| <p>HENRY W. STEIN
Managing Director, Structured Finance
Indus Capital Advisors (HK) Ltd.
(香港)</p> | <p>TOM WHITSON
Partner, Head of Transaction Services
KPMG FAS Co., Ltd.
(日本)</p> | |

講師の顔ぶれ最新情報は、www.AsianFN.com でご覧いただけます。

2006 ASIAN PRIVATE EQUITY & VENTURE CAPITAL FORUM – JAPAN

登録について

こちらの登録フォームに申し込み料金を添えて(小切手、クレジットカード、EFT等)郵便、またはファックスにてお申し込みください。

AVCJ GROUP LTD.

Room 1301, 13/F, Mass Mutual Tower,
38 Gloucester Road, Wanchai,
Hong Kong
電話: +852 2838-9626
ファックス: +852 2891-9659
E-mail: AVF@AsianFN.com

登録料

- 早期申し込み特典: (2006年3月10日までのお申し込み)
US\$1,395 / HK\$10,880 / S\$2,395 / ¥155,000
- 標準料金: (2006年3月10日までのお申し込み)
US\$1,495 / HK\$11,660 / S\$2,565 / ¥165,000
- 団体料金: US\$1,295 / HK\$10,100 / S\$2,225 / ¥139,000
(同一の会社からの、2名様以上の登録のみ適用となります)

料金には、2日間の会議、両日の朝食とランcheon、夕刻の晚餐レセプション、晩餐会ディナー、代表者様のリストを含む会議用資料が含まれます。

ご出席ご希望のフォーラムに“✓”をつけてください。

4月3日月曜日6:30 PM に開催のウェルカムカクテルに参加します。 はい いいえ

4月4日火曜日6:30 PM に開催のウGALAカクテル&ディナーに参加します。 はい いいえ

キャンセルと払い戻し

キャンセルをご希望の場合は、書面にて、2006年3月20日までに郵送していただいた場合のみ300米ドル(または同等)のキャンセル料を差し引いての払い戻しが有効となります。2006年3月20日以降のキャンセルはいかなる場合にも払い戻しは一切いたしません。本ポリシーは、前払い保証金と、会議の管理にかかるコストからどうしても必要となるものです。

登録の確認

お支払いの済んだ登録のみ確認の書面を送付しています。2006年3月27日までに公式代表者のリストに掲載の確認をお送りいたします。

登録用紙 (2006 AVF / JAPAN)

お名刺を添付していただくか、下記の欄に読みやすい字でご記入ください。

www.270306

Mr/Ms _____
お名前 姓

企業名 _____ 肩書き _____

ご住所 _____

郵便番号 _____ 国 _____

電話番号 _____ ファックス _____ Email _____

お支払い

- マネーオーダー、小切手は受取人を AVCJ Group Ltd. としてください。
- HSBCへの銀行お振り込み One Queen's Road Central, Hong Kong: a/c# 004-502-118953-001 (US\$/HK\$) (SWIFT code: HSBCHK HHH KH) および004-808-6-600106 (JPY) 銀行のお振込み料金はお申し込み人様にてご負担ください。お振込みの明細書をファックスでお送りいただく場合は、(852) 2891-9659, または (852) 2152-0741までお願いいたします。
- トカードでのお支払い: (US\$/HK\$) Visa Mastercard American Express
(注: クレジットカードでのお支払いには、5%の手数料が追加となりますのでご注意ください)

カード番号 _____ 有効期限 _____

カードのお名前 _____ ご署名 _____

AVF の代表特典として、AVCJ Weeklyの1ヶ月間無料購読を申し込みます。

ホテルのご予約

泊施設状況

会議にご出席の代表者さまには、特別料金で東京全日空ホテルにご宿泊いただけるお部屋を限定数をご用意しております。2006 AVF/JAPAN会議の出席者であることをお伝えいただければ、特別料金でご利用いただけます。

AVF 出席者特別料金 東京全日空ホテル

スタンダードルーム 1泊 ¥21,567
(インターネットは無料でご利用いただけます)

上記の料金にはサービス料と税金が含まれております。(チェックインがスムーズにいきますよう、ご到着の便名とご到着時間などの詳細をお知らせください。)

お部屋ご予約のキャンセル

お部屋のご予約をキャンセルご希望の場合は、48時間以上前にホテルに直接お問い合わせください。直前のキャンセルや、ご連絡なく当日にキャンセルいただく場合は、ホテルは提示していただいたクレジットカードに該当料金を請求させていただくこととなりますので、ご了承ください。

東京全日空ホテル

107-0052 東京都港区赤坂1-12-33
担当: Ms. Hiromi Konno
電話: (81) 3 3505-1113 Fax: (81) 3 3505-1190
Email: hiromi.konno@anahotels.com

こちらの申し込み用紙をご利用になりたいホテルに直接ご送付ください。

東京全日空ホテル ファックス: (81) 3 3505-1190

部屋数 _____ / _____ 泊ご予約希望

Mr./Ms _____

企業名 _____

ご住所 _____

電話番号 _____ ファックス _____

ご到着日 _____ ご到着の便名 _____ 到着時間 _____

ご出発日 _____ ご出発の便名 _____ 出発時間 _____

クレジットカード Visa MasterCard American Express

カード番号 _____ 有効期限 _____

カードのお名前 _____

ご署名 _____